

令和5年度 千葉県立野田中央高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	美術探究	単位数	2	クラス	3年生1, 3~8組
教科書	図案辞典文庫型(志村文世:著)		副教材等				

1 学習の到達目標等

芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション 絵画/表現	静物・手のデッサン	デッサンに取り組む事で、モチーフをじっくり観察する大切さや、構図の取り方、質感の違いの描き方、光と影を意識して立体感を出す方法を学ぶ。	ワークシート スケッチ3枚
5		12色相環	3原色から混色によって12色の基本色を作り出すことで、オリジナルの色作りや、色彩の組み合わせによって生ずる効果を学ぶ。	ワークシート
6		半立体絵画	スケッチや色相環で学習した構成力や色彩感覚を活用し、美味しそうに見える食品の色味や構図を考え、平面からさらに発展した半立体絵画を制作する。	制作中の作品
7		鑑賞	お互いの作品を鑑賞し、良いところなど意見を述べ合い、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、まとめる。	完成した作品 鑑賞用ワークシート
9	立体/表現	アイデアスケッチ	粘土の特性や扱い方を理解し、与えられた素材を最大限活かした上で、オリジナリティのあるデザインを考え、スケッチを重ねて構想をまとめる。	ワークシート アイデアスケッチ
10		粘土造形 「フィギュア制作」	キャラクターらしい動きが出るようポーズを追求し、芯を形作る。 だまかに粘土で肉付けして全体像をつかむ。	製作途中の作品
11			洋服や皮膚の質感が出るよう工夫しながら整える。完全に乾かす。 やすりと彫刻刀で細部を仕上げ、形の完成。着色。ニス塗、仕上げ。	
12		鑑賞	お互いの作品を鑑賞し、良いところなど意見を述べ合い、作者の意図や心情、創造的な表現の工夫など、感じ取った事を文章にまとめる。	完成した作品 鑑賞用ワークシート

1	デザイン	<p>ステンシルによるエコバッグのデザイン制作</p> <p>鑑賞</p>	<p>日常生活で使うことをイメージし、デザインを工夫する。 文字を使うので、ステンシル特有の形に置き換え、ステンシルの技法を理解する。</p> <p>布絵具で着色。色の組み合わせを工夫し完成。 お互いの作品を鑑賞し、良いところなど意見を述べ合い、作者の意図や心情、創造的な表現の工夫などを感じ取り、まとめる。</p>	<p>アイデアスケッチ</p> <p>制作中の作品</p> <p>完成した作品 鑑賞用ワークシート</p>
---	------	---------------------------------------	--	---

### 3 評価の観点

美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している
鑑賞の能力	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

### 4 評価の方法

美術への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ

#### 確かな学力を身につけるためのアドバイス

美術教育は、人間形成と創造性に大きく関わるものです。特に柔軟なもの見方、考え方は人としての幅を広げ、想像力、発想力は豊かな創造性の基盤となるものです。素直な心で表現したり主体的に関わることで豊かな情操が育まれていきます。  
材料の特性や表現技法をよく理解し、試行錯誤を繰り返しながら毎時間集中して授業に取り組むことがよい作品を完成させることにつながります。  
技術的には自分のできることよりも少し上を目指してください。

#### 授業を受けるに当たって守って欲しい事項

- ・授業はチャイムと同時に始まりますので、教材・用具を準備し、着席を完了してください。また、授業中は集中して制作することが大切です。
- ・基本的に授業は制服で受けますが、作業によってはジャージ着用も可です。
- ・欠席や公欠の場合は、直ちに各自で指示を受けに来てください。
- ・提出物は、期限を厳守してください。